

## 獣医師通信

本格的な冬に入ってきました。動物たちは気温が下がってくると、乾燥による呼吸器の異常や、水分の摂取量が減ることで膀胱炎が多くなると言われています。小さな変化でも気になることがあれば、獣医師にお尋ね下さい。フィラリアの予防につきましても、12月分までしっかり予防しましょう。

## 看護師通信

ご飯やサプリメントなどをインターネット注文でき、ご自宅まで商品をお届けする「動物ナビ」というサービスを開始しました！今年度の2月までお得なキャンペーン期間中です。是非ご利用下さい。

## トリマー通信

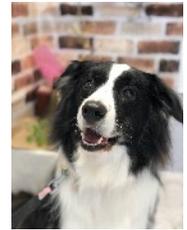
トリートメント・はみがきセット 800円  
泡パック・はみがき・肉球パックセット 1500円  
ハーブパック・ハーブ湯・はみがき・肉球パックセット 2000円  
セット料金がお得になっています。ぜひお試し下さい！



飛鳥田アッシュくん



松本ララちゃん



渡辺ルークくん

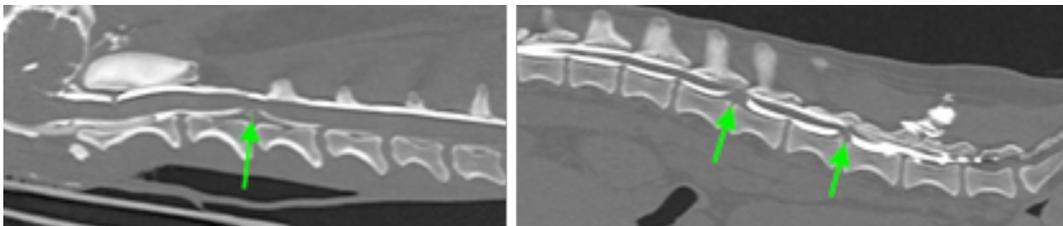
## 獣医師コラム

### 椎間板ヘルニア

椎間板ヘルニアとは、変性した椎間板組織が脊柱管内に脱出し脊髄を圧迫することで、神経の機能が低下している状態を言います。一般的に、軟骨異常養犬種（ミニチュア・ダックスフンド、ウエルシュ・コーギー、ビーグル、シーズーなど）に多発します。ミニチュア・ダックスフンドは3～7歳齢時に胸腰部に、ビーグルは若齢時から頸部に、シーズーは高齢時に発症しやすい傾向があるそうです。

### 診断

症状と神経学的検査によって重症度が分類されます。頸椎では3段階、胸腰椎では5段階に分類されます。重症度が低い場合、すなわち痛みだけの場合は、保存治療が選択されますが、痛みが続く場合や麻痺が起きている場合は、外科治療が第一選択になります。外科治療を行うためには確定診断が必要になります。確定診断は、当院では脊髄造影とCT検査を併用して行っています。



当院で行なった脊髄造影CT検査画像。左の画像が頸椎椎間板ヘルニア、右の画像が腰部椎間板ヘルニアで、緑の矢印は神経が圧迫されている部位です。

### 治療

保存治療：4～6週間の絶対安静と疼痛緩和。高容量のステロイド治療は、治療ガイドラインで『推奨されない』となっています。

外科治療：頸椎では腹側減圧術を主に行っています。この術式は周囲の筋組織への侵襲が最小限で効果的に椎間板物質を除去できます。胸腰椎では小範囲片側椎弓切除術を主に行っています。この術式は椎体の関節を切除せずに椎間板物質を除去できるので、侵襲が少なく、術後に脊椎が湾曲する合併症が起こりません。

### 予後

重症度が4段階までであれば、外科治療による改善率は80%以上とされています。一方で、保存治療による改善率の報告はほとんどなく、重症度が進行してしまうリスクがあります。

当院では16列マルチスライスCT装置と外科用X線撮影装置（Cアーム）を導入しておりますので、確定診断検査と手術を同時に行うことができます。

以前は、確定診断検査を別の画像診断施設で行い、後日手術を行っていましたが、現在は一回の全身麻酔で診断から手術までが迅速に行えるようになりました。

院長 大川 雄一郎